

## 市民の皆様からのご意見と札幌市の考え方

本年度の各局の予算要求の概要を11月4日から公表し、12月3日までの間、市民の皆様からのご意見を募集しました。

公表にあたっては、「なまらわかる！財政のあらまし」のホームページ公開や、中学校の出前講座や高校生の職場体験学習の受入れの実施などの取組により、多くのご意見をいただくことができました。

お寄せいただいたご意見に対する札幌市の考え方について、以下のとおり公表いたします。

・意見の項目 136項目  
 ・意見提出者 245人  
 ・意見の提出方法  
   文書 244人  
   電話 1人

担当局	意見の要旨	各局の回答
総務局	外国人と日本人の異文化交流ができる機会を増やしてほしい	(公財)札幌国際プラザや札幌国際交流館、札幌留学生交流センター等と連携しながら、引き続き市民と外国籍市民との異文化交流の機会を設けてまいります。
市民 まちづくり局	地域の安全確保のため、防犯に係る取組を強化してほしい	市民の防犯意識の向上と地域防犯活動への参加促進を図り、犯罪被害に遭う市民を一人でも減らすよう、関係部署等と連携しながら安全で安心なまちづくりに係る取組を進めてまいります。
	交通事故が起きることのないよう、交通安全対策を進めてほしい	札幌市では、交通安全教室や街頭啓発、夜光反射材の普及活動等を通じ、交通事故の減少に向けて取り組んでおります。今後とも、工夫検討を重ね、安心安全な札幌市を目指してまいります。
	自転車マナーが向上するよう、対策を進めてほしい	街頭指導や啓発活動を通じて、ルール・マナーの向上に努めるほか、平成27年秋ごろを目途に駅前通で「押し歩き地区」の運用を開始し、歩行者の安全確保意識の高揚を図ってまいります。
	白石区複合庁舎の整備に多くのお金をかけるよりも、各地区センターの設備を充実させるほうが良いと思う	白石区複合庁舎の整備は、老朽化が進む区役所などを改築し、利便性の向上や防災機能の充実などを図る事業です。地区センターにつきましても、設備の改修や更新に加え、エレベータの設置を順次進めてまいります。
	アイヌ文化と観光を結びつける取組を行ってはどうか	アイヌ文化交流センターにおいて、観光客の受入を行っておりますが、今後、関係部署との連携により、観光客にも関心を持ってもらえるよう、努めてまいります。
	都心部以外についても、活性化が図られるような取組を進めてほしい	地下鉄の始発駅などでは、郊外部の住民の生活を支えるとともに、近隣の魅力資源や隣接都市、空港・港湾などとの連携を意識した多様な機能を備えた拠点として、機能向上を図ってまいります。
	公共交通の利便性について、より利用しやすいものとしてほしい	バス等の利便性向上を図るため、地域住民、バス事業者及び行政の3者協働による生活交通の在り方の検討やバス事業者との適切な役割分担による地域交通ネットワークの維持に取り組んでおります。
	地下鉄が利用しにくい地域があるので、交通機関のネットワークについて、改善してほしい	渋滞対策を含めた、道路交通の円滑化や公共交通の利便性向上など交通機関をより使いやすくなるための取組を行ってまいります。
	交通機関の混雑緩和のための取組を進めてほしい	
	地下鉄の延伸を進めてほしい	地下鉄の延伸・新設については、利用者数予測に基づく事業採算性などを十分に勘案した慎重な検討が必要であると考えております。
地下鉄延伸については、市民に負担がかからないよう、黒字・赤字の状況を踏まえて判断してほしい		
バリアフリーの取組を進めてほしい	平成18年にできたバリアフリーの法律に基づいて、札幌市ではバリアフリー基本構想を作り、道路、建築物、公園やJR駅・地下鉄駅などの施設で計画的にバリアフリーの取組を進めております。	

担当局	意見の要旨	各局の回答
市民まちづくり局	活性化につなげていくために、北海道新幹線推進費の予算を増やすべき	活性化につなげていく取組は重要と考えており、新函館北斗の開業年である平成27年度については予算増額のうえ、国の交付金を活用して平成26年度補正予算に前倒して事業費を計上し、沿線自治体とも協力して一層効率的・効果的なPR活動に取り組みます。
財政局	使用していない施設を解体するなどして、土地を有効活用すべき	公共施設の跡地等は、行政的な活用策がないものは売却することを基本とするなど、公有財産の有効活用の考え方に基づく取組を進めてまいります。
	施設の整備よりも、支出を抑え、借金の返済を進めるほうが先ではないか	市債残高は、平成15年度に比べ、27年度予算では約4,800億円縮減しました。今後も、将来世代に過度な負担を残さないよう、引き続き適切な財政運営に努めてまいります。
	税金の負担を減らしてほしい	日常、寄せられるご意見をもとに、市民の皆様様に満足いただけるよう、今後も効果的な予算配分に努めてまいります。
	よりよい街となるような予算としてほしい	
	市民の安全を確保するための業務に多くの予算をつけるべき	
	ムダな予算をなくし、重要な事業に多くのお金をかけるべき	今後とも最少の経費で最大の効果を上げるよう、事業の選択と集中の取組を進めてまいります。
	予算編成にあたっては、地域の声をしっかり聞いて行ってほしい	今後とも予算編成過程の公開を進めるとともに、市民の方からの意見を聴取し、予算編成に当たってまいります。
	要求の概要について、要求の全体像がわからず、前年度との比較もできない。意見を求めるには説明不足ではないか	平成27年度当初予算は、従来からの継続的な事業や例年実施している経常的な事務事業などにかかわる経費を中心とした骨格予算であることから、要求時点では、前年度予算との比較は行いませんでした。
保健福祉局	老人ホームへの補助などの保健福祉関係予算を充実してほしい。老人ホームが増えれば、そうした福祉の仕事に就く人も増えるのではないか	子どもから高齢者まで、障がいのある方もない方も、誰もが安心して快適に心豊かに暮らすことのできるまちづくりを目指し、さまざまな福祉施策を通じて、市民サービスの向上に取り組んでいきたいと考えております。
老人ホームの設置や子供を出産できる環境づくりを進めてほしい		
特別養護老人ホームの補助や、障がい者交通費助成など、市民が安心して暮らすための分野に力を入れるべき		
福祉除雪の協力員が少ないのでもっとよびかけるべき。また、利用の負担金をもっと安くするべき	協力員の確保に向け、今後も広報さっぽろや町内会回覧等による周知を継続してまいります。また、利用にあたっては一定の負担をお願いしておりますが、平成12年度以降、金額は据え置いております。	
老人ホーム整備に対する補助を集中的に行うなど、高齢者が安心して暮らせる環境を作してほしい	特別養護老人ホームにつきましては、介護保険料に与える影響や、入所申込者のうち、入所の必要性、緊急性が高い入所申込者が早期に入所できるようにすること等を踏まえ、計画的に整備を進めてまいります。	
特別養護老人ホームの整備に既存建物を生かしてはどうか	札幌市では、特別養護老人ホームにつきましては、利用者が生活する10の個室と共同生活を送る大きな部屋が一体的に配置されるユニット型の整備を進めており、建物も独自の設計となるため、既存建物の活用は難しいと考えております。	
在宅の老人であっても生活に困難な方はいると思うので、支援に力を入れてほしい	札幌市では、在宅の高齢者の方が住み慣れた地域でいつまでも暮らしていけるよう、市内に27か所の地域包括支援センターと53か所の介護予防センターを設置して、区役所とともに高齢者とそのご家族の支援を行っております。	

担当局	意見の要旨	各局の回答
保健福祉局	お年寄りのＩＣカードの普及率が低いと思うので、高齢保健福祉部の事業はとも良い	ＩＣカードは、地下鉄改札機やバス車載機等にタッチすることでスムーズに乗り降りができることなど、敬老優待乗車証の利用者である高齢者にとって使いやすいためであることから、早期移行に向けて進めてまいります。
	今後の高齢化社会のため、福祉に関する取組を充実すべきである	現在、平成27年度から平成29年度を計画期間とする、新たな「札幌市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画」を作成しております。今後はこの計画に基づき、高齢化の進行を見据えながら、高齢者保健福祉に関する取組を着実に実施してまいります。
	全ての子どもを対象とした医療費の助成を実施してほしい	子ども医療助成につきましては、一定以上の所得のある方を除き実施しておりますが、いただいたご意見を踏まえ、今後の助成のあり方につきまして検討してまいります。
	動物保護施設をもっと増やすなど、収容動物の対策を進めてほしい	人と動物が共生する社会の実現を目指して、動物愛護や適正飼育につつまして普及啓発等に努めていくとともに、保護施設のあり方を含めた、今後の動物愛護管理行政のあり方についても検討してまいります。
子ども未来局	子ども活動体験の場について、非常によいものであると考えるので、市内複数の箇所に設けてほしい	現在のところ、市内複数の個所に設ける予定はありませんが、平成27年度以降子どもの体験活動の場で展開される、様々なモデル事業の内容を広く発信し、児童会館や子ども会など市内各所における体験活動事業の充実につなげていきたいと考えております。
	子ども活動体験の場について、子どもが色々な人と交流し、体験できる場としてほしい	子どもの体験活動の場には、子どもに関わる様々な人々の交流や地域連携を進める多世代交流・地域連携の場もありますので、この場も活用し子どもが様々な年代の方と交流できるような事業を実施する予定です。
	子ども体験活動の場事業について、わざわざ作る必要はないのではないか	現代の子どもは、自発的な活動体験、社会への参加体験の不足、自己肯定感の低下があるといわれております。このような状況の中、子どもの体験活動の場は子どもの自立性と社会性を育むことを目的としており、市内各所における体験活動事業の充実のために、必要なものであると考えております。
	子どもの分野にかけのお金を増やしていくべき	札幌市では、「札幌市まちづくり戦略ビジョン」を策定し、その基本理念として「札幌の未来をつなぐ子どもたちのために」を掲げております。その基本理念に基づき、子どもに関連する施策を展開してまいります。
	少子化の改善のため、子育て支援を充実させることに力を入れるべきではないか	地域における子育て支援施策の充実に向けては、市民ニーズ調査の結果に基づき、計画的な支援を実施してまいります。
	少子化が進んでいるのだから、医療費など、子供が生まれた親への負担を少なくするようにしてほしい	子どもに対する医療費助成のほか、子ども・子育て支援新制度下における保育所・幼稚園等の利用料を利用者の状況に応じた負担にするなど、子育て家庭の負担軽減に取り組んでまいります。
	不登校の児童生徒の学びの場・居場所となるフリースクールの経営補助について、検討してほしい	フリースクールの運営費補助につきましては、現在国において支援策の検討が始まったところですので、その動向を注視しながら今後の対応について検討してまいりたいと考えております。
	児童会館等の整備の予算を充実してほしい	小学校と複合化した児童会館の整備を進めるなど、今後も、放課後の安全で安心な居場所づくり、働きながら子育てできる環境づくりに努めてまいります。
	少子化が進んでいるので、児童会館・ミニ児童会館は増やさなくてもよいと思う	放課後児童クラブの利用希望者数は増加傾向にあり、放課後の居場所整備は、今後も必要であると考えております。
	待機児童対策のため、保育園や幼稚園の数を増やすなど、対策を進めてほしい	札幌市は保育所定員の拡大、幼稚園預かり保育などの多様な保育サービスや各区保育コーディネーターによる市民相談体制の充実など、待機児童対策の取組を積極的に進めております。
環境局	ごみの減量が進むよう、もっと広報活動に力をいれていくべき	ごみの減量を進めるためには、自主的な取組が重要であることを市民に理解してもらうことが必要であり、札幌市では様々な広報を行っているところです。今後もその重要性を伝えるため、より効果的な広報活動を進めてまいります。

担当局	意見の要旨	各局の回答
環 境 局	街の美化活動に、もっと力を入れてほしい	札幌市ポイ捨て等防止条例により、札幌市全域でポイ捨ては禁止されております。この条例を広く市民にPRしていくとともに、美化活動の支援を実施してまいります。
	清掃関係の取組を充実してほしい	清掃関係の取組として、これまで、ごみ分けガイド等の配布によりごみ出しルールの周知を図るほか、ごみステーションの管理支援やごみ排出困難者への支援などの取組を行っております。今後もこれらの取組をより一層推進するよう努めてまいります。
	焼却灰をセメント原料としてリサイクルするというのは、セメントが多く現場で利用されていることを考えると非常に良い	現在、札幌市の3清掃工場より年間約5万トンの焼却灰が発生しております。今後も焼却灰をセメント原料としてリサイクルして、資源の循環とともに最終処分場の延命化を図ってまいります。
	リサイクルに関する取組を強化してほしい	びん・缶・ペットボトルや容器包装プラスチックを始め、様々な資源物のリサイクルの取組を行っております。正しく分別することで、効率的にリサイクルされ、新たな資源として生まれ変わるため、分別の徹底につつまして周知してまいります。
	街の美化のためにも、家庭の生ごみ減量・リサイクル推進事業を充実してほしい	燃やせるごみの約4割を占める生ごみを減量し、ごみステーションを清潔に保つため、生ごみ堆肥化相談窓口の設置や生ごみ堆肥化セミナーの開催、生ごみ堆肥化機材購入助成等を実施してまいります。
	家庭の生ごみ減量・リサイクル推進事業について、どのような事業なのかわかりにくい	燃やせるごみの約4割を占める生ごみの減量を目的とし、生ごみ堆肥化相談窓口の設置や生ごみ堆肥化セミナーの開催、生ごみ堆肥化機材購入助成等を実施するものです。
	生ごみ資源化システムの実証実験にお金をかけすぎではないか	生ごみの分別収集・資源化の可能性を検証するため実施している事業ですが、効率的な収集ルート構築等により費用節減に取り組んでおります。今後も費用対効果を意識し、効率的な事業の実施に努めてまいります。
	ソーラーパネルの設置場所の充実や、地熱発電など、再生可能エネルギーの利用を増やしてほしい	低炭素社会と脱原発依存社会の実現に向け、未利用地への太陽光発電の設置促進や補助制度の利用拡大など、再生可能エネルギーの普及促進を最大限加速してまいります。
	LEDを積極的に導入するなど、節電への取組を進めるべきである	札幌市では、これまでも節電目標を掲げて市有施設全体で節電の取組を行っておりますが、今後も照明のLED化を引き続き進めるなど、さらに節電に取り組んでまいります。
	子どもや障がいを持った人でも安心して遊べるような公園を整備してほしい	多様な市民が公園の管理運営に参画する仕組みづくりを行うなど、地域の状況を踏まえ、子どもや高齢者、障がいのある方も含めた多くの市民に利用される魅力ある公園づくりに努めてまいります。
	子どもが高齢者が集まり交流する場となるような公園づくりをしてほしい	
	誰もが安全・快適に利用できるよう、公園の維持管理や遊具の整備を十分に行ってほしい	札幌市では月1回以上の日常点検や遊具専門業者による年2回の定期点検のほか、不可視部分の分解点検、積雪期の公園巡視を行い遊具の安全に配慮しております。また、異常を発見した場合には市に連絡を頂けるよう、市民にも周知してまいります。
	利用頻度の少ない公園を廃止するなど、施設の見直しをするべき	公園の配置状況等を踏まえて、公園が不足している地域には整備を進め、老朽化が進み、地域ニーズに合わない公園につつましては、遊具主体の公園や、広場主体の公園等、機能を分担した再整備に取り組んでおります。これにより、公園の利用促進や、不要な施設の削減を図るよう努めてまいります。
	少子化であることを考え、公園整備の予算は抑えるべき	
公園利用のマナーについて、冊子等による周知活動を行う必要があるのではないかと	ホームページなどにおいて、一般的なマナー等の注意を周知しているほか、特に個別での周知が必要な情報につつましては、各公園にて看板等を設置してあります。	
身近に自然を感じることができるような環境づくりを進めてほしい	公園緑地の整備を始め、都心部における民有地緑化の支援、市民や企業との協働による森づくり等を通して、今後も潤いと安らぎのあるみどり豊かなまちづくりを推進してまいります。	

担当局	意見の要旨	各局の回答
環 境 局	円山動物園に対してお金をかけすぎではないか	円山動物園では、札幌市における環境教育の拠点、生物多様性確保の基地、また、様々なメッセージを発信するという役割を担っており、市民意見を踏まえて策定した「札幌市円山動物園基本計画」に基づき、順次、施設等の整備を進めております。
	円山動物園について、トイレを増やすなど、見学環境を良くしてほしい	
	動物園の見学環境の改善（臭い）や、檻など設備の状況の確認など、現施設の点検・改善に力を入れるべき	
	改修期間中の動物の保管について、極端に悪化しないようにするべきではないか	
	経済効果が期待できることから、ホッキョクグマ・アザラシ館の建設はとてよい	円山動物園の高い繁殖実績を活かし、絶滅危惧種に指定されているホッキョクグマの同時繁殖を引き続き目指すとともに、海外動物園との動物交換も視野に入れていることから、世界的な基準を満たした施設を整備するものです。
	円山動物園の活性化は進んでいることから、ホッキョクグマ・アザラシ館の建設費用はかける必要はないのではないか	
経 済 局	経済の活性化などにより札幌市が発展していくよう、力を入れてほしい	札幌市では、今後10年間の産業振興の方向性を示す「札幌市産業振興ビジョン」を平成23年1月に定めております。同ビジョンに基づき、引き続き札幌経済の活性化に力を入れてまいりたいと考えております。
	産業振興・活性化に力を入れるため、企業立地促進の予算を充実するべき	雇用の創出及び地域経済の活性化を図るため、引き続き積極的に企業立地を促進してまいります。
	経済の中小企業金融対策資金貸付に予算をまわすのがよいと思う	札幌市では、市内の中小企業が低利で安定した資金を円滑に調達できるよう融資制度を設けております。今後も、本市の経済の活性化に繋がるよう、費用対効果についても検証しながら、制度の利用を促進してまいります。
	中小企業金融対策資金貸付について、お金をかけすぎではないか	
	大学を出ても仕事に就けない人が増えているので、何らかの支援ができないか	札幌市では平成18年度から、ジョブチャレンジプログラムを実施し、若者の就職支援に力を入れております。平成26年度からは新たに新卒未就職者を対象に正社員就職を支援するフレッシュスタート塾事業を実施しております。
観 光 文 化 局	外国人が来訪しやすくなるような取組をしてほしい	多言語による情報提供、宗教・文化などに対する理解促進、Wi-Fiなどの通信環境の整備といった、外国人が札幌に滞在する間の利便性と満足度を高める取組を進めてまいります。
	イベントの企画や集客施設の整備などにより、観光をもっと活性化させてほしい	来場者が200万人を超えた「さっぽろオータムフェスト」や世界的なイベントである「さっぽろ雪まつり」など、今後も観光の活性化に資するようなイベントや観光資源の魅力の維持・向上に向けた取組を検討してまいります。
	札幌にある、自然も含めた既存の資源を観光に活かしてはどうか	札幌市には既存の資源が多くあり、これまでも観光PRの際に自然を目玉の1つとしてまいりました。27年度においても、既存の資源の掘り起こしや自然も含めた既存の資源を活用したPR等をおこなってまいります。
	雪まつりに力を入れ、多くの観光客を呼び込むべき	ステージ型雪像制作やアートの展開など、今後も多くの観光客を呼び込むための取組を検討してまいります。
	雪まつり宣伝広告のため、地下歩行空間に雪像設置はできないか	これまでも地下歩行空間において、冬のイベントの宣伝広告のため、雪まつり期間中に「さっぽろ雪めぐり回廊」を実施してまいりましたが、より効果的な宣伝のため、様々な手法を検討してまいります。

担当局	意見の要旨	各局の回答
観光文化局	シティジャズを活性化させ、札幌市の情報発信や国際交流を進めていくべき	サッポロ・シティ・ジャズにつきましては、ジャズを中心とした文化芸術の振興はもとより、まちの魅力向上や集客交流の促進を図っていくためにも、引き続き事業を継続してまいりたいと考えております。
	サブカルチャーのイベントを行うことで、活性化につながるのではないか	平成25年度より、札幌芸術の森にて「きたまえ↑札幌マンガ・アニメフェスティバル」を開催するなど、「サブカルチャー」とよばれる分野のイベントもおこなっております。今後も、頂いたご意見を参考に、「サブカルチャー」の事業展開について検討してまいりたいと考えております。
	市民交流複合施設について、必要最低限のもので整備するとすればより費用を抑えられるのではないか	老朽化が進んでいるさっぽろ芸術文化の館の後継施設である市民交流複合施設につきましては、厳しい財政状況を踏まえつつ、50年以上利用する施設として必要な整備を引き続き検討してまいりたいと考えております。
	国際芸術祭に関する事業については、もっと力を入れてほしい	札幌国際芸術祭2014の結果を検証し、次回もより多くの市民の皆様に参加していただける芸術祭になるよう、しっかりと取り組んでまいります。
	市内の施設を活用するなどして、芸術鑑賞の機会を学校教育の場でもっと取り入れてほしい	現在、札幌市内のほぼすべての小学生を対象とし、5年生には美術館での美術鑑賞、6年生にはクラシックコンサート及びミュージカル鑑賞の機会を提供しており、今後は低学年や未就学児向けの事業についても検討してまいりたいと考えております。
	オリンピック開催にかかる予算を充実してほしい	27年度1定補正予算において、オリンピック・パラリンピックの開催概要計画策定等の予算を計上しております。今後も、招致に向けて様々な取組をおこなっていく中で、必要な予算を計上してまいりたいと考えております。
	ウィンタースポーツ選手の育成を推進してほしい	関係競技団体等と連携して市内小中高校生を対象とした未来のトップアスリート育成のための事業をおこなっております。今後、札幌市出身のアスリートが世界で活躍できるよう支援してまいりたいと考えております。
	体育施設の充実など、年齢問わず利用しやすい環境づくりを進めてほしい	各区体育館やプールの他、学校体育館やグラウンド、健康づくりセンター等の既存施設を活用しながら、今後も幅広い世代がスポーツを楽しむことができる環境づくりを進めてまいります。
建設局	駐輪場を整備してほしい	駐輪場が不足している実態は把握しておりますが、現状では早急な駅周辺の用地確保が難しい状況となっております。引き続き様々な手法で駐輪場の確保を進めていきたいと考えております。
	放置自転車に対する対策を進めてほしい	頂いたご意見を参考に、放置自転車に関しては、順次駐輪マナーの啓発、自転車の整理、駐輪場の整備、放置禁止区域の指定、必要に応じた撤去などの対策を進めていきたいと考えております。
	除排雪の頻度やロードヒーティングなど、手法を検討しつつ、除排雪対策を充実してほしい	札幌市では、除排雪事業の中長期計画である「札幌市冬のみちづくりプラン」を策定し、メリハリをつけた冬期道路の管理を行うことを進めております。今後も、冬期間の市民生活や経済活動を支えるため、より効果的・効率的な除排雪に努めてまいります。
	ロードヒーティングを増やすことで、排雪にかかる費用を抑制できるのではないか	ロードヒーティングと除雪機械による排雪を比べると、ロードヒーティングの経費が高んでいるのが現状です。そのため、勾配が比較的緩い道路に設置しているロードヒーティングにつきましては、凍結防止剤の散布強化などによって安全性を確保しながら、ロードヒーティング停止による路面管理手法の変更を行い、除排雪経費の抑制に努めてまいります。
	地域住民で除雪を行うなどの取組により、除雪費用を減らすべきではないか	現状でも、生活道路の除雪について、間口処理は市民の皆さんにお願いするなど地域住民の協力を得ながら除雪をおこなっております。また、生活道路の排雪については、地域と市の双方が費用を負担するパートナーシップ排雪制度等により実施しています。今後も、地域住民の皆さまとの協働を基に、さらなる取組を検討してまいります。
	雪対策に関する広報費用は、費用対効果の観点から減らしてもよいのでは	毎年、札幌市には雪対策に関する苦情や意見、要望等が2万件以上寄せられており、その中には、除雪のやり方や市民の皆さんにご協力をお願いをしている内容も多いのが現状です。除排雪に関するマナーを広く知ってもらうため、今後も様々な広報媒体を積極的に活用し、雪対策への理解や協力を促す必要があると考えておりますので、ご理解いただきますようお願い致します。
	自転車専用道路など、自転車が安全に走行するための環境整備をしてほしい	自転車が安全に走行する環境整備は重要な課題のひとつと考えておりますが、地域の理解が重要であり、まずは都心部において地域と協働で取り組んでまいりたいと考えております。

担当局	意見の要旨	各局の回答
建設局	安全確保のため、道路・歩道の整備にお金をかけてほしい	限られた予算の中で効果的な道路の整備・維持修繕を行うため、計画的に事業を進めており、良好な道路サービスを継続的に提供していくために「道路維持管理基本方針」に基づき、道路利用者の安全・安心の確保のため努力してまいります。
	電線地中化をもっと進めてほしい	電線地中化（無電柱化事業）は、電線管理者にも費用負担があるため、電線管理者等の合意が必要であり、合意を得られた箇所の電線地中化を今後も進めてまいります。
	歩行者の安全確保のため、街灯の整備を進めてほしい	幹線道路等の道路照明は国の基準と要領に従って設置しており、生活道路の防犯灯は電柱共架式で設置しています。街路灯の設置要望は、各区の土木センターで相談を受けております。限られた予算の中で効果的な街灯の整備・維持修繕を行うため、計画的に事業を進めてまいります。
	道路について、バリアフリーの取組を進めてほしい	「新・札幌市バリアフリー基本構想」等に基づき、乗降客数の多い駅から公共施設を結ぶ経路を優先的に整備するなど、計画的に事業を進めてまいります。
	道路や街路の整備は、本当に必要なところのみをやってほしい	「札幌市まちづくり戦略ビジョン」等に基づきながら、コストの縮減や事業の重点化、優先化を図りながら、必要な整備をおこなってまいります。
	道路補修については、同じ箇所の補修を同時に行うなど効率化を進めてほしい	舗装等整備費と道路改良費などで同じ箇所を補修する場合には、同一工事で発注する等、効率化をおこなっております。今後も効率的・効果的に事業を進めてまいります。
	道路清掃などは、地域で行うようにして費用を削減すればよい	道路清掃につきましては、幹線道路の車道を主として行っており、地域にお願いするのは危険が伴うため難しいものと考えております。歩道についてはボランティア袋を利用した清掃のお手伝い等についてご案内を続けてまいりたいと考えております。
	歩道の整備について、赤レンガテラスのように、レンガやタイルを使用した歩道が増えれば、観光資源になると思う	アスファルト舗装以外の歩道舗装につきましては、景観への配慮のほか、地域の皆様のご意見等を踏まえ、その必要性を検討してまいります。
	河川敷について、憩うことができる空間を確保してほしい	河川敷地には河道のほか、管理用通路等を確保する必要がありますが、用地に余裕があり環境もよい場所では、地域と協働で親水空間などの整備を順次おこなっております。
	河川について、過度な護岸工事をせず、自然な状態にすべきではないか	河川の護岸工事につきましては、川の流れが速いため必要となる場合や用地などに制約がある場合、橋などの構造物を保護する必要がある場合など、必要に応じて施工しております。
都市局	苗穂駅周辺のまちづくりについて、お金をかけすぎではないか	苗穂駅周辺は、札幌市のまちづくりの総合計画等において、札幌の魅力と活力の向上を先導する都市機能が集約する拠点として重点的に整備をおこなっている地区ですので、ご理解をお願いいたします。
	市営住宅の配置について、各区間のバランスをとれないのか	これまで市内各所に市営住宅を建設してきたところですが、建設用地の確保や規模などについて様々な状況があることから、区により市営住宅の配置に違いが生じることはやむを得ないものと考えております。
	公共施設整備の際には、バリアフリー化など、様々な利用者を想定した構造としてほしい	従来から既存施設の保全改修にあわせてバリアフリー化を進めており、今後もバリアフリー新法及び札幌市福祉のまちづくり条例等に基づき、様々な利用者を想定した建築物のバリアフリー化を進めてまいります。
	耐震不足の施設について、改築による対応ではなく、補強により進めていくのがよいのではないか	公共施設整備の長期的な維持・保全の観点から、施設の耐用年数等を見据えて、効率的かつ効果的な施設更新を検討してまいります。
	施設を新しくするよりも、今ある施設を大事に使うことが大切であると考えている	今後、市有施設の更新に莫大な費用がかかることが想定されるため、新設・建替えは極力抑え、計画的な修繕を進めてまいります。
教育委員会	学校の設備を改修し、勉強に集中できる環境を整えてほしい	良好な教育環境を確保するため、必要な設備の改修等を進めてまいります。

担当局	意見の要旨	各局の回答
教育委員会	学校の設備を良くしても、学力には直結しないと思うので、過度な施設整備はしないほうがよい	良好な教育環境を確保するため、必要な設備の改修等を進めてまいります。
	老朽化した学校が多いので、改築を進めてほしい	学校施設の老朽化対策につきましては、単に改築というだけではなく、できるだけ長く使用するための改修もあわせて進める必要があると考えております。
	将来を担う子どもを守る、また、安全な避難所となるため、学校の耐震化を進めてほしい	学校は児童生徒の学習の場であるとともに、災害時には避難所となることから、計画的に耐震化を進めております。数年以内に改築を予定している学校を除き、平成27年度までに全校の耐震化が完了する予定です。
	スロープを昇降口につけるなど、学校のバリアフリー化を進めたほうがよい	学校のバリアフリー化の必要性については認識しており、これまでも整備をおこなっております。今後につきましても、計画的に整備を進めてまいります。
	施設の充実などにより、学校で運動しやすい環境を整えるべき	体育館やグラウンドなどの整備につきましては、これまでも改築や改修等をおこなっており、今後も計画的に進めてまいります。
	節電のため、小学校への太陽光パネル設置を継続してほしい	学校施設への太陽光パネルの設置につきましては、これまでも計画的に整備をおこなっており、今後も計画的に進めてまいります。
	市立高等学校にもソーラーパネルの設置をしてほしい	
	格技場を全中学校に整備してほしい	全中学校に格技場を設置するため整備を進めており、平成26年度末時点で97校中79校に整備が終わる予定です。今後も計画的に整備を進めてまいります。
	英語教育が重要と考えるので、リスニングやALTの先生と交流を図ることができる専用の教室を設けてほしい	リスニングにつきましてはICT教材等の活用を図っております。ALTとの交流や授業については、活動内容や校舎の状況等に応じて普通教室や多目的室、ランチルームや体育館等を工夫して活用しております。
	学校について、あまり使われていない備品類をなくしたり、消耗品を多く抱えないようにすべきではないか	各学校では、教育活動に最低限必要な備品等を整備しております。また、消耗品については、ある程度の数量をまとめて発注する方が安価に購入できる場合もあり、今後も、合理的な予算執行を進めてまいります。
	タブレットなどの電子機械を取り入れた授業ができないか	全ての学校でコンピューター室や大型テレビなどICT機器を活用した授業をおこなっています。また、タブレットパソコンを活用した授業についても、モデル校において実証研究を進めています。
	子どもが様々なことを体験できるような教育をしてほしい	札幌市は自然環境、人的環境、文化的環境等に恵まれており、各幼稚園・学校においては、これらを活用した体験的な活動をおこなっており、今後も、このような体験的な活動を大切にまいります。
	学力向上のため、ティームティーチングなどの取組を進めるべきではないか	これまでもティームティーチングなどの取組は進めてきているところではありますが、子どもたちの学ぶ力の育成に向け、今後ともティームティーチングを含むきめ細かな個に応じた指導の充実を図ってまいります。
	教師の数を増やし、生徒への目が行き届くようにしてほしい	教員の配置は、北海道教育委員会が定めている教職員定数配置基準に基づいておこなっておりますので、今後も引き続き国や北海道に対して教員増を要望してまいりたいと考えております。
特別支援学校を増加させてほしい	特別支援学校につきましては、学校教育法第80条において、都道府県に設置義務が規定されていることから、札幌市としては、入学対象となる児童生徒の増加に応じて、北海道教育委員会に対して開設を要望してまいります。	
部活動の全体レベルアップのため、予算を充実させるべきではないか	部活動は、学校教育の一環として、同好の生徒の自主性、自発的な参加により行われ、豊かな心、健やかな体を育むことを目指した活動として位置付けており、この活動を推進するため予算の確保に努めてまいります。	



担当局	意見の要旨	各局の回答
教育委員会	少子化が進む中、総合的な学習の時間にもっと重点を置き、人材の育成に力を入れるべきであり、予算もそのような教育に振り向けてほしい	総合的な学習は、小学校では環境に関する学習など、中学校ではキャリア教育などをおこなっています。引き続き総合的な学習の充実を図り、自ら社会と関わり探究する人材の育成を進めてまいります。
	就学援助について、高校生も対象としてほしい	就学援助制度は、学校教育法で義務教育課程の子どもがいる家庭への援助と位置付けられております。高校生へは就学支援金という補助制度が別途ございます。
	図書館の蔵書を充実してほしい	図書館の蔵書につきましては、予約の多い図書や様々な分野の図書等を幅広く揃えることが望まれていると認識しております。しかし、限られた予算の中でそのすべてを確保することは難しいため、全体のバランスを考慮しながら、できる限り充実を図りたいと考えております。
	子供の学力向上のため、図書館で勉強できる環境をよりよくしてほしい	図書館の自習室につきましては、一般閲覧者や調査相談者への配慮するとともに、勉強のための環境についてより良い対応を考えてまいります。なお、札幌市中央図書館では平成26年4月から試行的に一部のスペースで自習可能としております。
	図書館の自習室について、席を増やし多くの人が利用できるようにしてほしい	
	絵本図書館は子どもが多く住んでいる場所に設置すべきではないか	(仮称)絵本図書館は、全市民を利用対象者とし、地下鉄駅と直結される白石区複合庁舎に設置しますので、多くの市民にご利用いただけたと考えております。また、地区図書館における幼児向けサービスの充実も検討しております。
	絵本図書館の蔵書については、子どもが楽しめるように配慮してほしい	(仮称)絵本図書館では、年齢(月齢)段階に適したバランスで選書するほか、デジタル絵本も収集するなど、多くの絵本を取りそろえ、子どもが楽しめる蔵書を検討してまいります。
	なるべく幼稚園・保育園の近隣に1つの小学校・中学校を建設してほしい	少子化が進む中、今後、新たな場所に学校を設置することは難しいと考えております。
交通局	老朽化した地下鉄駅ホームの更新を行ってほしい	交通局では、お客さまに安全で便利に利用して頂くため、ホーム柵やエレベーターの設置をおこなってまいりました。今後も、頂いたご意見を参考に、安全で便利にご利用して頂けるよう検討してまいります。
	車いすの乗客が利用しやすいよう、地下鉄の設備を整えてほしい	車いすのお客さまにも利用しやすい施設となるよう、これまで各駅にエレベーター等を整備してまいりました。今後も、車いすスペースを1両毎に設置することや、乗降口の高さを低くした車両の導入を検討するなど、より利用しやすい地下鉄設備を考えてまいります。
	路面電車の停留場にホーム柵を設置するなど、安全対策を進めてほしい	路面電車の停留場につきましては、ホーム柵を設置できるほど十分な幅がありません。また、2両同時に停車させることもあり得るため、ホーム柵の設置は困難なのが現状です。今後は、道路の拡幅を伴う工事等に合わせ、関係部局と連携し、停留場のバリアフリー化と合わせて安全対策を考えてまいります。
	地下鉄について、増収に向けた取組を進め、活性化していくべき	イベントとの連携や様々な媒体を活用したPR、魅力ある企画券の検討等を一層進めることで、地下鉄のさらなる利用促進を図り、増収につなげてまいります。